

SDGsは良いものか

香芝市立香芝北中学校 三年 松井 優楽

SDGsは良い取り組みだと思いますか。

今、世界的に取り上げられているSDGsですが、自分はこれを達成しても世界が平等で平和になるとは思っていません。よくテレビやインターネットの記事などで、SDGsを促進する意見ばかりが出ています。自分はそれを見てとても不思議に思っています。SDGsに反対している人は自分以外にもいるのか気になったので、インターネットで調べてみたのです。SDGsはなぜ取り組むのか、どのくらいの人知っているのか、もし二〇三〇年までに達成できないと世界はどうなるかなどがたくさん出てきました。そこで、驚くべき情報がたくさんありました。それは、あれだけいろいろな問題に関係しているSDGsですが、自信を持ってよく知っていると言われた人は日本で七パーセント以下だということです。日本は世界と比べても、SDGsの有名度は高い方なのですが、自信を持って知っていると言えられる人が七パーセントだけなのはSDGsに取り組む上であまり良い結果だとは思えません。SDGsを促進するのであれば、SDGsについての知識を増やすことを優先するべきだと感じました。それ以外にもたくさんあります。いちばん身近に感じられたのは、SDGsを自分の都合の良いように利用するというものです。SDGsは世界の困っている人のためにあるはずなのに、自分の都合の良いように利用するのはあってはならないことだと思います。

自分の周りの人や、家族にも、SDGsのバッジをつけているところをよく見かけます。SDGsのバッジをつけることで勤めている企業や社会がSDGsに貢献していることをアピールしているのだと思います。本当にそのアピールは必要なのでしょうか。そのアピールをするためにたくさんのSDGsバッジが作られます。それを作るお金で一体何人の人々が救えたのでしょうか。本当に困っている人を助けるための行動なのでしょうか。それが不思議でたまりません。

このように上辺だけSDGsに取り組んでいるように見せかけて企業や会社などを運営することを「SDGsウォッシュ」と言います。SDGsウォッシュのように、自分の都合の良いように、困っている人のためにある目標を使って、利益を得る人がいるから達成できないのだと思います。このような人が一定数存在してしまうことで、平和や平等、公平といったものから一気に遠のいてしまっているように感じます。

ですが、自分はSDGsを全面的に否定したいわけではありません。今のSDGsの在り方に不満があるのです。例えば、「ゼロ」や「全て」など非現実的な表現が多くあまり実感が湧かないというものです。他にも、ジェンダー平等を目指す項目があっても、ほとんどの内容が女性のみしか焦点が当たっていないというようなものもあります。

このような矛盾の多いままのSDGsに取り組みたいと思いますか。目標を決めても、そこまでの道のりが上手くいかなければ、達成するのは難しいと思います。「結果より経過」とよく言われますが、そんなことはなく、結果も経過も上手く行って、そこで初めて目標を達成したと言えるのではないのでしょうか。

結果も経過も上手くいくようなSDGsを自ら考え出し、自ら行動に移すことが、平等や平和、公平というものに近づく第一歩になるのだと思います。